三池主婦会

※原稿送り先＝大牟田市不知火町2丁目
三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき＝市内3033・7140　炭鉱474・528
※責任者＝文教部長　川畑信子

野蛮さムキ出しに
主婦に卑劣な逮捕続く

完全に三井の私兵となつた警察は、組合員・オルグの逮捕にあきたらず、こんどはその毒牙を主婦にむけておそいかかつてきました。組合をめぐる情勢が有利になるにつれて、あせり猛つた会社、官憲はいよいよ血迷つた行動に出てきて、主婦のガツチリ固つた闘争心をくずそうとかかつてきました。まつたく卑劣きわまるあさましい根性です。十四日現在までに逮捕された主婦は十名、だが彼らの野望をうちくだいて五名の釈放をかちとつています。

さる三日、濃務支部臼井分会で抗議行動をおこなつたが、そのときいま市議（第二組合）の夫人に傷害をあたえたという理由で、警察は谷鈴子さんを自宅前から、子供に逢うひまもあたえず逮捕状もみせずにひきずるようにして逮捕していつたのです。

このときの抗議行動は整然とおこなわれ、警官の目の前で行動したのです。傷害をうけたという辻夫人はピンピンしていましたし、どこに傷害をうけたのかと同じ社宅の第二組合の主婦の間でさえもの笑いの種となつているのです。

もし、かりに傷害事件があつたとしたら、現行犯として警察は当然逮捕しなければならないのに、抗議行動後に〝得無〟をいわさず逮捕していくということは、いかに事件をテツチあげて逮捕しているかを物語つています。

この日、血迷つた警察は、谷さんとともに臼井分会長の松尾綱雄さんを不当逮捕しましたが、このことを憤つた分会員は午後、警察署に抗議をおこないました。

ところが本署前の抗議デモの主婦にもおそいかかり、大城チトセさんを急襲し、つづいて小川フミさん、峰静子さんらをつぎつぎに逮捕していつたのです。一緒に連れていた子供がいるのにもかまわず、警察は子供からもぎはなすような冷酷ぶりをしめしました。

さらに翌日は谷ミネさんをも逮捕していきました。

四山でも四名を

家庭をあづかる主婦の逮捕がどんなに家庭を暗くし、子供に悪い影響をあたえるかを百も承知しながら、この不当逮捕をあえて強行した彼らの意図は、はつきりしています。主婦の団結にヒビを入れ家庭を動揺させ、何とか闘争をきりくずそうというもつとも卑劣な行動というほかありません。何も逮捕しなくとも、調査の方法は他にいくらでもあるのに、いかにも主婦が男に劣らず暴力を働いているという印象を、対外的にも宣伝しようという狙いがふくまれていることはいうまでもありません。

主婦の逮捕はこれを手始めに、いよいよ警察は狂気の沙汰をもつていどみかかつてきました。

十一日、四山支部の炊事当番として働いていた福社一分会の滑水サツエさん、松尾アヤ子さん、平江ミジユさん、岩崎熙美さんの四名が不当逮捕されました。

さる三月二十九日の夕方、第二組合の主婦に傷害をあたえたという理由です。

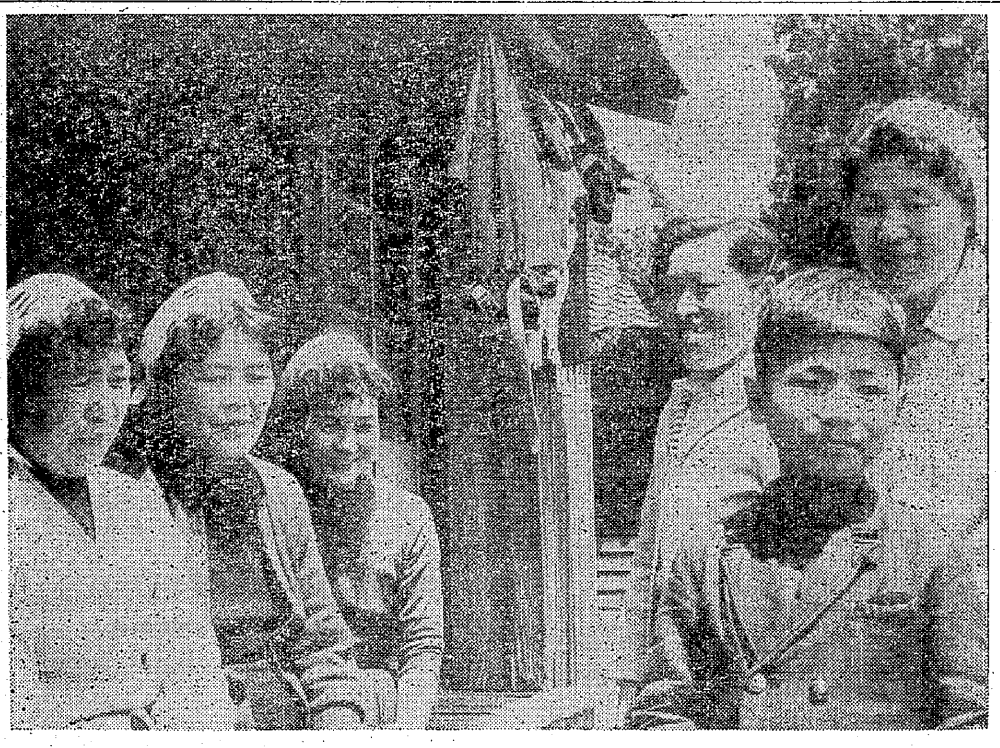
四名の主婦たちは主人と一緒に中食をとつて支部事務所ウラでの抗議大会に出席し、いかなる弾圧にも負けず闘いぬく決意を明るく大牟田署に向いました。

だが団結は崩れぬ

いま主婦会では外来の各家庭を回つて、激励とともに闘いについての疑問や見通し、不満などたんねんに聞いて解決に取組んでいます。去る二日からはじまり、十三日で荒尾・大牟田関係を終えましたが、さらに警察の汚れた手は、十四日港務支部臼井分会の大石チエ子さんの逮捕となりました。これは前記の辻夫人傷害という理由です。

こうして、十五日までに十名という多くの主婦を不当逮捕していきましたが、しかし主婦会に加えられてきた鬼畜のような弾圧は、かえつて逆効果をよび、いよいよ勝利をめざして闘う決意はつよくなつていくばかりです。

私たちの上におそいかかつている不当逮捕の本質をみぬき、くじけず、さらに団結をかためなければなりません。



釈放をかちとった（左から）谷、小川、大城さんを激励

元気に訪問情宣
感激で苦労も吹つ飛ぶ

ひきつづいて、十六、七日両市いがいの外来を回り、訪問情宣をつづけることになつています。

主人は毎日ビケに出勤して、家庭の留守を守る主婦、とくに外来では情報も十分聞かれないことからこの激励をかねた訪問情宣となつたのです。

連日、各支部からあつまつた人たち計六十名の主婦たちは、苦労をいとわず、真剣に卒先して情宣をつづけており、頭が下がる思いがするとある役員は語つていました。

社宅と違つて隣の家が山一つへだてたところもあるという不便も克服してつづけられたが、情宣してかえつてはげまされたり、子供に元気づけられたりなど、みんないよいよ明るい確信をもつて行動ができたといつていました。

ある家庭では、いろいろ話を聞いた主婦がジツとして家におれず、翌日、支部に出向いたところ、主婦が炊出し作業をしているのを見て自分も応援、「ひじように元気づけられました。明日からも出てきます」と元気に帰られた主婦のことや、いろいろ話を聞いてお年寄りがカンパをされるなど、いろいろと感激的な場面に行きあわせ、苦労も忘れて、訪問をつづけることができたということでした。

斗いをつづける情勢は、一日一日と三池を支援する態勢がますます強化されています。こういうときに当つて主婦会では、一時の迷いのため第二組合へ走つた主婦たちにたいして、いまの状態を知らせ、争議を早く解決し一日でも早く明るい生活をするために、つぎのような呼かけをおこない郵送しています。

奥さん暮も過ぎ、いよいよ初夏の季節になつてまいりました。ついこの間まで親しい仲間だつたころをおもいだしてなつかしんでおります。

わたくしたちの仲が引裂かれてから、もうふた月になろうとしています。買物の途中、お風ろへのゆきかえりに顔をあわせても、お互いにかたいことばしか交わせなかつたふた月、子供たちまでかわいそうでしたね。

あたたかいカンパと
支援が寄せられています

このように悲しい対立がつづいたこのふた月のあいだに、わたくしたちのたたかいには、たくさんの人々から支援が寄せられてきました。オルグが毎日数千名も集まつて、わたくしたちとともに闘つていますし、カンパも総評・炭労からの組織カンパはもちろん、それ以外の任意カンパも、大きな組合、小さな組合、名をきいたことのない主婦、さらに全労さん下の組合員の方からまでどんどん送つてくれております。

いままでの分を合わせますと二億七千万円にもなつております。

また、国際自由労連（これには全労も入つています）という世界の労働組合が集まつているところからも三鉱労組にたいして物心両面の支援をするということで調査に参りました。

会社はおいつめられ
あせつてきました

このように、わたくしたちを支援する態勢が全国的にたかまつてきたため、そして、三鉱労組が力強く抵抗しているため、五千人もの警官を集めながら、会社と第二組合は石炭を出すことができません。このため、会社重役のなかま割れが起きましたし、会社は五つ億の金を使いましたが銀行はこれ以上金を貸すのをしぶつています。

ですから第二組合の存在価値もあまりなくなり、会社はひじようにアセつてきています。

会社は焦つている
復帰して共に闘かおう

第二組合をつくれば
争議が早く終るはず
でしたが—

奥さん、あなたは、第二組合へゆけばこの闘争が早く解決する、とおもつたのではありませんか。

しかし、それどころか、かえつて長びいていますね。お金も力もないわたしたちが、会社の資金引下げや、首切りをさせないためには、スクラムを組んでほんとうに団結して闘うのが本当じゃあないでしようか。

いまのように、三鉱労組が分裂していてようこぶのは会社だけです。そのために、会社はたくさん金を使つて幹部を買収して第二組合をつくらせるのです。第二組合をつくつて早く解決するのだ、という第二組合の幹部の宣伝は、まつたく「ウソ」だ、ということがはつきりわかつたでしよう。もうだまされてはいけません。

争議を早く解決しましよう

奥さん、この争議を早く解決しましよう。そのためには、いまわたくしたちが、見事ひとつに結び合うことです。御主人ともよく話しあつてみてください。いろいろ事情もありましよう。でも、子供のため、あなたのため、みんなのために、一日も早く三鉱労組に主人を、奥さんは主婦会へかえつていらつしやい。

私たちは待つています。そしてふたたび手をとりあつて語りましよう。あなたのナヤミは私たちみんなの団結の中でかならず解決できます。〝あなたのかえる日を待つています。

すぐ三池の組合か主婦会のあなたの話しやすいひとに相談して下さい〟

一九六〇年五月一三日
三池炭鉱主婦会

職場は私たちのもの

本所　看護婦

今から六年前のちようど今ごろのことでした。私の職場はほとんど独身ばかりでしたが、結婚したら家庭に落ち着くことを望んでいる風潮が強かつたのです。それでも、私たちは共稼ぎしないと食べられないほど、夫の給料が安いので共稼ぎすることを少々肩身のせまい思いをしながら結婚いたしました。その頃、組合の方からいろいろ励まされていましたが、あまり組合の人に苦情を訴えますと、職制の圧迫がひどかつたものですから、なるべく黙つて職制の顔色をうかがいながら勤務を致しておりました。そのご、多くの闘いで勝ちとつた職場条件の中で、たやすく子供を生み育てながら勤務できるようになつたのです。産前休暇のあいさつに婦長さんの所に参りましたところ、「貴女方は良いですね、子供ができても勤められるのだから。私たちは、今になつて一人であることを淋しく思いますよ」としみじみいわれました。

その時ほど私は組合運動の有難さを深く感じたことはありません そして、一歩一歩世の中が進み、働く者が動きやすくなつてきたのでした。ここまで育つてきた労働運動の歴史に、会社は血も涙もない手段で立ちむかつて参りました悪いことをしていなくても、会社に都合の悪い人間は平気で首を切つています。

こんど看護婦は首の対象になつていないからといつて、同じ働く仲間が首になつているのを見捨てて、第二組合に走つている沢山の私たちの友達に、もう一度さけびたいのです。今までのように明るい働きやすい職場をつくるために頑張りましようと。今から会社のいいなりになつていたら、私たちの子供の時代には、希望という言葉が無くなつてしまうでしよう。子供のいる人も、そして近き将来に母親になられる人も、ともに手をつないで、新しい時代の女性として恥かしくない行動をとりましよう。主婦会の方々の意気込みに負けないように、働く私たちもどんな悪らつな切りくずしにもくじけずに、進むべき道は一つであることを確信したいのです。

三池主婦会の皆さんに

日炭高松　工　藤奈良生

私たち炭坑労働者のために
私たちの父母や幼きもののために
沢山の平和を愛する仲間のために
あなたがたは
今日も
鉢巻に汗をにじませ
ささくれた手に弁当をつくり
ビケにたつ愛する人々を
送り出しているだろう
白けた　髪
うすらいだ　胸
血に飢えた一にぎりの
資本家どもと
白い手に棍棒をもつ
権力の
狂暴な風のなかに
なお
ヤマを愛し
三池の人を愛して
ひたすら
働く仲間の解放の日を願う
お母さん　あなたがた
ほこりつぽく滅んだ
大牟田の空気が
夜をさそうとき
あなたがたは
三井資本と警察の合作による
請負暴力団に
尊い生命を奪われた
久保清さんを
思つて眠れないと言う
沈むような　悲しみ
燃えるような　憎しみ
夜のしめつぽさは
あなたがたの血と涙
語りつくせない
苦しみの数々
いま　たとえ
真実を伝える記事が
わずかであつても
そのこまかなことを
知ることができなくとも
全国の同じ仲間たちは
あなたがたの血が
私たちの血であり
あなたがたの心が
私たちの心である限り
憎しみが、勇気が、すべてが
体の中にかけめぐるのを知る
ふるさと三池を
踏みにじり
仲間を引裂き
あなたがたの
愛する人々から
職をうばい
生活を拉し去ろうとする
三井の資本家と犬共
そのむかし
祖父たちが
同じ手筒で
なすすべもなく
ヤマを去らねばならなかつた
にがい想い出を
静かに、熱つぽく
あなたがたは
呼びかえしているだろう
それ故にこそ
「炭掘る仲間」が
くちびるに
誇らかにうたわれ
拳が、まなじりが
敵をもとめて
はげしく
燃えるものだ
ふるさとに
平和をねがい
ささやかな家庭に
幸福を思う
たつたこれだけの
あなたがたの、望み
そのためにこそ
ビラをくばり
デモにつかれ
なお
背に幼きをはなさず
今日も、また
ビケに立つ愛する人を
送り出しているだろう
三池主婦会の
みなさん

（日本高松文学サークル）